

あけましておめでとうございます

今年も平和と社会保障の充実のために力を合わせましょう

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

今年も社会保障の充実を求める運動を強めていきたいと思います。保険証廃止撤回の運動に関しては、私たちのこれからの運動次第で、情勢が大きく動く可能性があります。さらに力を入れて政治を変えていきたいと思います。

このことが出来れば、国民の意識も変わり、皆が声を上げることで、政治を変え、国を変えていけるという意識が芽生えてくると思います。それをしっかり育てていくことで、私たちの求める社会保障を勝ち取ることが出来ると思います。

さて、一昨年前からのロシアのウクライナ侵攻。まだまだ先が見えない状況にあります。また、去年はパレスチナにおいて大規模な武力行が行われています。毎日のように戦争による悲惨な、先の見えぬ現状が報道され、テレビではその映像が流されています。

このことをどう考えるか。一旦戦争が始まれば、終わりのない悲惨な状況が続き、やはり戦争はダメ。日本を戦争のできる国にしてはいけないと考える人々。また反対に、ロシアや北朝鮮の脅威に対して、やはりそれに対抗できる、戦争のできる国に日本をしていかなければならないと考える人々。意見は二分していくと思います。

私は「戦争のできる国にする」と考える人たちが増えていくのではないかと懸念します。

戦争。社会保障とは全く真逆なものです。戦争のない平和な社会であってこそ社会保障の充実が図れます。

私たちの運動で、情勢を変える可能性が出ている今、本年はさらに戦争の無い平和な世界を求め、社会保障の充実の運動を強めていきたいと思います。

また、2024年、府内では、2月4日京都市長選挙、3月12日笠置町長選挙、4月14日京丹後市長選挙などが行われます。すべての市町村で、いのちと暮らしを守る施策がさらに拡充するよう取り組みを進めてまいりましょう。

2024年1月1日

京都社会保障推進協議会

議長 渡邊賢治

